

平成23年7月13日(水)

第2回「雷別ドングリ倶楽部」の活動結果

7月13日(水)、会員16名が参加して第2回「雷別ドングリ倶楽部」の活動を行いました。今回の活動内容は、「ヘキサチューブの撤去作業」、「植物の観察」を行いました。

ヘキサチューブの撤去作業では、植栽木を鹿の食害から守るため木に被せたチューブより植栽木が大きく成長し、鹿の食害を受けるおそれなくなったことから撤去しました。植栽木の成長が良いため、簡単にヘキサチューブを抜くことができず、チューブを壊して撤去を行いました。また、チューブを撤去した後、支えがないと傾いてしまう植栽木もあり様々でしたが、立派な森林になることを願い撤去作業を行いました。当日の参加者には平成15年の設置時に作業を行った方もいて、当時ヘキサチューブ設置の際に書いた自分の名前や鬼籍に入った友人の名前を見つけると、感慨深げに見入っていました。

植物の観察会では、草花に詳しい会員の方に花の名前を聞いたり、まだ熟していない「ヤマグワ」の実を摘んでみたりしながら楽しい時間を過ごしました。

雷別からの帰りには、国有林の巨木百選に選ばれている標茶のミズナラを見学し、巨木の大きさに感激したり、木の肌を撫でて巨木の生命力を少しだけいただき帰路につきました。



ヘキサチューブの撤去作業



標茶のミズナラ巨木